

斯坦因第四次新疆探险档案史料

スタインの新疆での第4回探険に関する文書と史料

Archival Historical Documents of Stein's 4-th Exploring in Xinjiang

中国新疆维吾尔自治区档案馆
日本佛教大学尼雅遗址学术研究机构

编

泥塑金身粉饰或漆文泥模各物(模坑在尼雅遗址)
头三件
立佛九尊(一尊已送交喀什口藏长)
小坐佛二十九尊(一尊已送交喀什口藏长)
干大扁形像一件(不神像)
奖牌款五件
玻璃珠款一袋
中国古钱二色有款款送交喀什口藏长
西藏古钱一色有款款送交喀什口藏长
约康赤土色泥塑品一色(约康古地名旁)
彩色牆泥碎片一件
斯土怕模形一件(斯土怕吊佛塔)
木製匙有喀羅斯提文款筒二件
印度文零日星福件三色(紙款)
印度文零西藏文零日星福件一色(紙款)
彫刻木製品及金佛珠又印度文零零日星
古物表附件三件
(二)在尼牙或附近各處之地面上所尋獲物品
尼牙地方
木製匙有喀羅斯提文款筒十七
木製匙有喀羅斯提文款筒十七
木製匙有喀羅斯提文款筒十七
金身新項器具(鐵器款)三件
零星雜項件物品(石珠玻璃等物品款)七色
陶器碎片一色
漢字木片(內附一件外餘係碎片)二十七件
尼雅遗址地方

斯坦因第四次新疆探险档案史料

スタインの新疆での第4回探険に関する文書と史料

Archival Historical Documents of Stein's 4-th Exploring in Xinjiang

中国新疆维吾尔自治区档案馆 编
日本佛教大学尼雅遗址学术研究机构

泥塑金身粉饰或漆文泥像各物(模北多后多)

头三件

立佛九尊(一尊已送交喀什口政长)

小坐佛二十九尊(一尊送交喀什口政长)

干大扁形像一件(不神像)

奖牌五件

玻璃珠数一袋

中国古钱二色有教牧送交喀什口政长

回教古钱一色有教牧送交喀什口政长

约康赤土色泥塑品一色(约康古地名属和丰)

彩色泥塑碎片一件

斯土帕模形一件(斯土帕为佛塔)

木刻起有喀里斯提文木筒二件(一印度)

印度文雪令日里稿件三色纸款

印度文西藏文雪令日里稿件一色纸款

雕刻木胎品及念佛珠又印度文字雪令日里文一件

古物表附件13续

(二)在尼牙或附近各城(地)面上所寻获物品

尼牙地方

木刻起有喀里斯提文木筒十九件

木刻起有喀里斯提文木筒二十件

木刻起有喀里斯提文木筒二十件

金身铜像器具(靴模木梳等)十件

金身铜像器具(铁器)三件

零星铜像小物品(并玻璃珠等物品)数一色古钱

陶器碎片一色

泥塑木片(四件)外铁像碎片二十七件

图书在版编目 (CIP) 数据

斯坦因第四次新疆探险档案史料 / 中国新疆维吾尔自治区档案馆, 日本佛教大学尼雅遗址学术研究机构编. ——乌鲁木齐: 新疆美术摄影出版社, 2007. 8

ISBN978-7-80744-088-8

I. 斯… II. ①中…②日… III. 探险 - 史料 - 新疆 IV. N82

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2007) 第 129056 号

主 编: 许新江
副 主 编: 童 鹿
编 辑: 王显辉 刘湘娟
责任编辑: 刘 振 杜雪巍
责任技编: 王 雷
装帧设计: 王晓琴
日文翻译: 孙沈清
英文翻译: 张立蒸

书 名: 斯坦因第四次新疆探险档案史料

编 者: 中国新疆维吾尔自治区档案馆

日本佛教大学尼雅遗址学术研究机构

出版发行: 新疆美术摄影出版社

(乌鲁木齐市西北路 1085 号 邮编: 830000)

制版印刷: 深圳市金豪毅彩色印刷有限公司

开 本: 889 毫米×1194 毫米 1/16 印张: 10.5

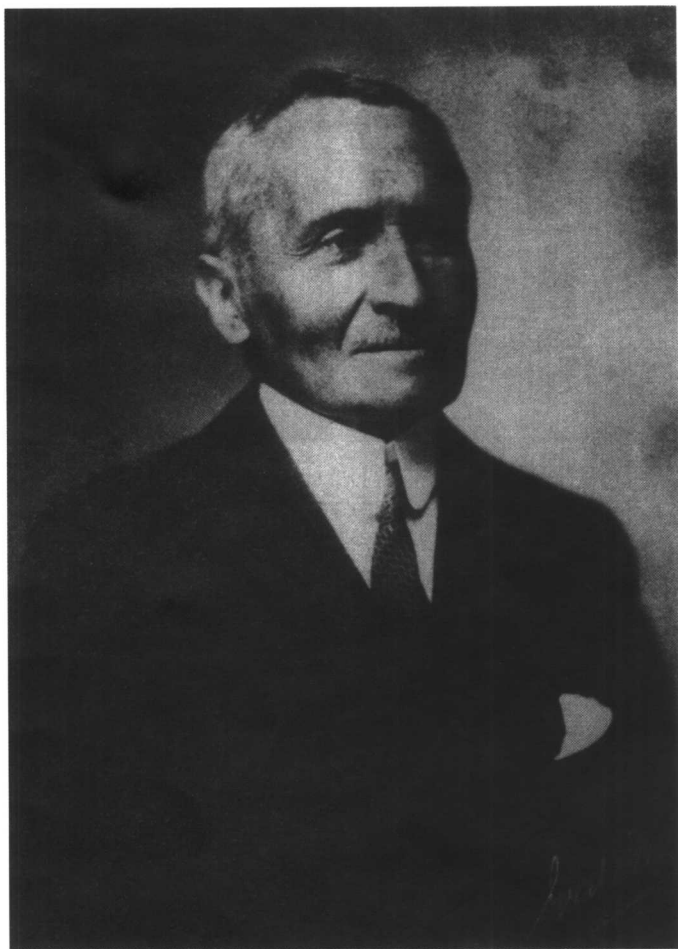
版 次: 2007 年 9 月第 1 版

印 次: 2007 年 9 月第 1 次印刷

印 数: 1-3000 册

书 号: ISBN978-7-80744-088-8

定 价: 168.00 元



斯坦因
スタイン
Stein



楼兰遗址
ローラン遺跡
Loulan ruins



尼雅遗址
ニヤ遺跡
Niya ruins



发掘尼雅遗址
ニヤ遺跡の発掘
Excavating Niya ruins

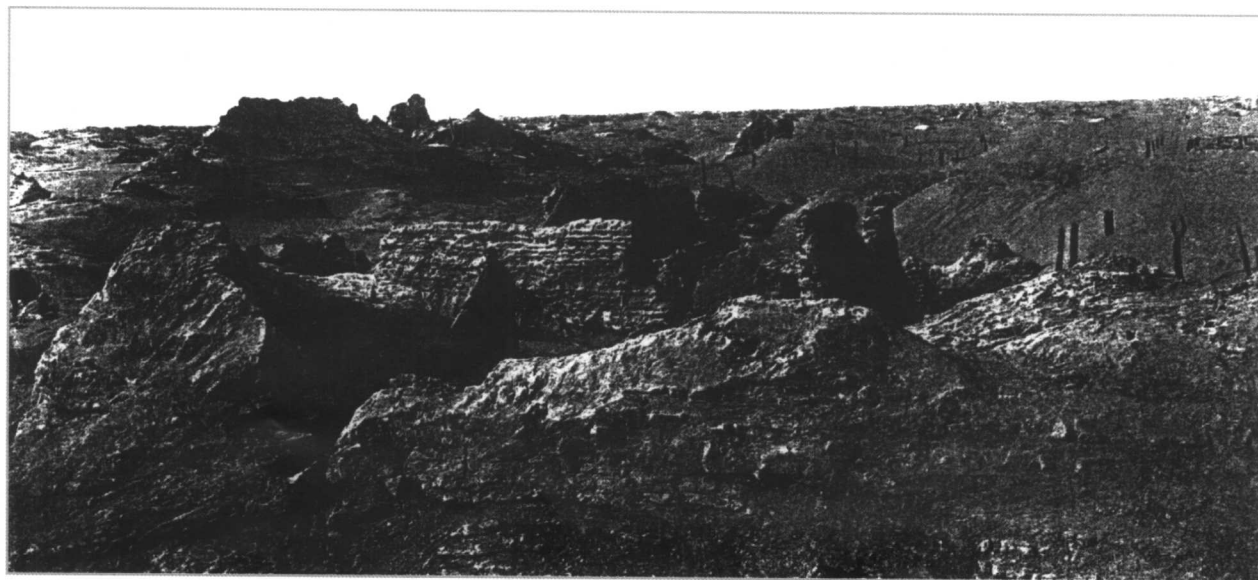
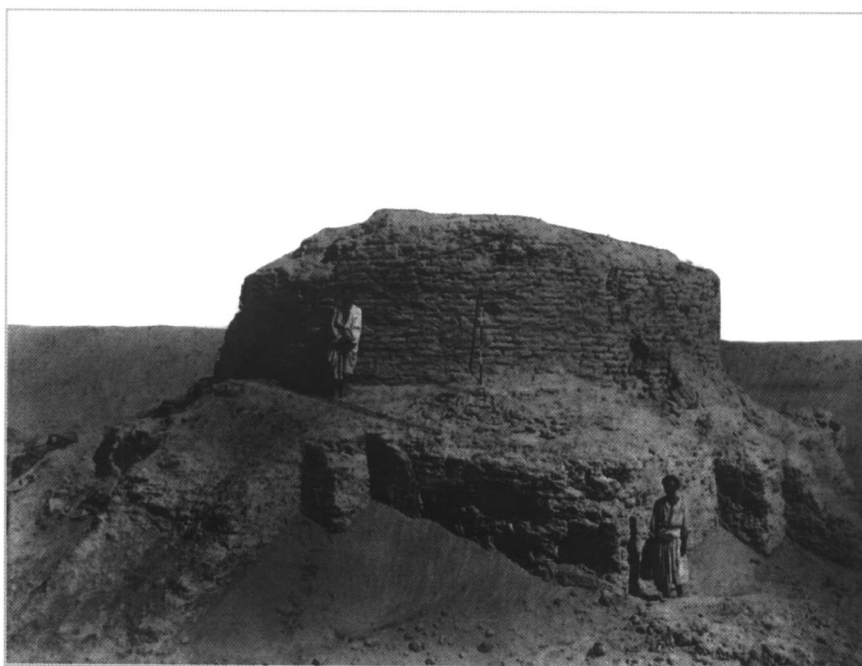


米兰遗址
ミラン遺跡
Milan ruins



米兰遗址壁画
ミラン遺跡の壁画
Milan ruins murals

热瓦克遗址
ラワック遺跡
Rawak ruins



安迪尔遗址
アンデル遺跡
Endere ruins

编者的话

斯坦因曾于上世纪初先后四次来我国新疆从事探险和考古活动。对丹丹乌里克寺院遗址、尼雅遗址、楼兰遗址、米兰遗址及吐鲁番的古迹等进行大肆发掘，窃去大量珍贵历史文物。可谓“收获颇丰”，斯坦因也因此蜚声中外。

斯坦因于1900 - 1901、1906 - 1908、1913 - 1915年在新疆从事的探险和考古活动中，曾得到了多方“照应”，发掘活动异常顺利，并盗掘和非法携带了大量文物出境。基于前三次的“成功”，1929年，斯坦因怀揣着更加庞大的文物掠夺计划，在美国哈佛大学及英国博物馆的襄助下，企图再次赴我国新疆等地发掘古物。1930年初，斯坦因从不堪美、英两国施压的中国国民政府外交部获得了在新疆一带游历的普通护照，于当年9月由印度进入新疆喀什，开始了他第四次在新疆探寻古物的活动。詎料，此时的中国政治局势发生了显著变化，由于受到中央研究院、古物保管委员会、中国学术团体协会等机构及各界有识之士的抗议，国民政府最终决定撤销斯坦因的护照，责令行政院将其驱逐出境。1931年2月，斯坦因被迫停止了在新疆于阗、若羌一带的盗掘古物活动，经库尔勒返回喀什，并于是年5月底由蒲犁（今塔什库尔干塔吉克自治县）边卡出境。所有通过不正当手段获得的古物均暂存于当时英国驻喀什领事馆内，后经新疆省政府交涉，移交至北平古物保管委员会。斯坦因离境前将这批古物拍摄成照片，带回英属印度。这些照片及改进玻璃底板现存于英国图书馆东方与印度收藏品部。

斯坦因第四次在新疆盗掘古物的活动最终以失败而告终。这一不光彩的事情，斯坦因讳莫如深，羞于启齿，日后从未在公开场合及其著述中提及。国内外有关论述也以西方史料和观点为主，往往有失偏颇，难以客观地反映史实。

为揭示这段鲜为人知的历史，使世人能全面、准确的了解事件发生、发展的过程，新疆维吾尔自治区档案馆与日本佛教大学尼雅遗址研究机构合作编辑出版了《斯坦因第四次新疆探险档案史料》一书。

本书收集了108件有关斯坦因第四次新疆之行的档案史料，其中82件来自新疆维吾尔自治区档案馆馆藏，26件为其他档案馆馆藏，其内容涉及这一活动发生的前因后果、行进过程以及当时中国各级政府对此行径的态度，真实、客观地再现了斯坦因在新疆盗掘古物这一不争的史实。

在本书即将付梓出版之时，我们要由衷地感谢长期以来致力于新疆文化和教育事业的中日文化友好使者、新疆维吾尔自治区人民政府文化顾问、日本佛教大学尼雅遗址研究机构代表小岛康誉先生，在这部档案史料整理和出版过程中给予的大力支持。与此同时，我们还要忧谢在该书的翻译工作中付出艰辛的孙沈清女士和张立蒸先生。

本书收录的档案以彩色影印的方式予以出版，使读者、研究者可以更直观、有效地利用这些珍贵的史料。

编者

2007年6月

编辑说明

一、本书收录的档案史料，绝大部分出自新疆维吾尔自治区档案馆馆藏。这些史料反映的是1930年—1932年间，有关斯坦因第四次在新疆进行考古活动的基本情况，以及当时中国各级政府对此事的态度和处理结果。

二、本书所选档案史料，依其形成的先后顺序排列。档案史料的标注时间为原文的发文时间。原文时间不详的，使用编者考证的时间。对原文使用的民国纪年，编者均换算成了公元纪年。

三、本书收录的档案史料的标题均由编者拟制，正文内不再另加标题，仅列序号，以便查阅。

四、对史料中出现的“斯坦因”的不同译名，在标题中均采用了通行的译名。如文中出现“司代诺”、“司坦囊”等，标题中统一译作“斯坦因”。除个别信函、电报外，所拟标题的发文和收文者仅标出了机构名称。其中新疆省政府及其隶属机构，标题中均省去了“新疆”二字。

五、本书对档案史料采取影印方式，在保持原有形式的基础上，对原件中过于破损之处予以适当修补，对所有档案底色作了统一处理，将变动情况以凡例示后。

六、为便于读者了解所选档案史料的原始形态及来源，编者将原件的尺寸标注于该份档案的首页之下，并在书末集中列出原文出处。

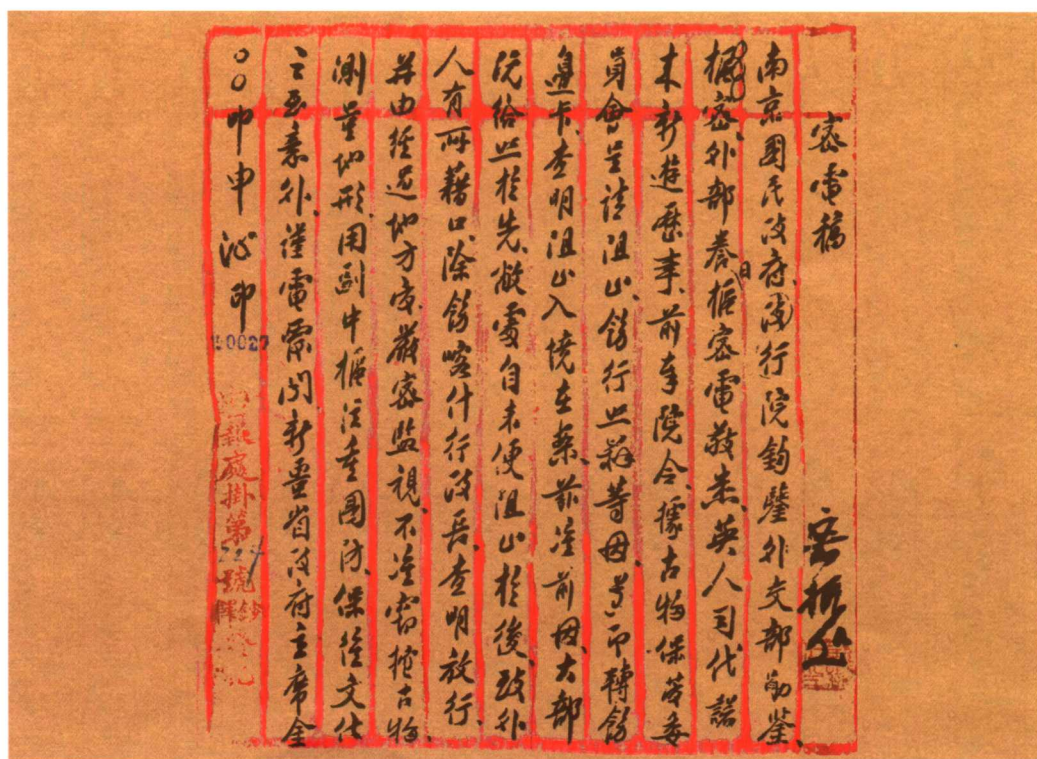
七、本书由新疆维吾尔自治区档案馆与日本佛教大学尼雅遗址学术研究机构共同编纂。

凡例

原始形式



调整后形式



編集者の言葉

スタインは前世紀の初めに前後4回にわたって、わが国の新疆に来て、探險と考古活動を行なった。タンタンウイリク寺院遺跡、ニヤ遺跡、ローラン遺跡、ミラン遺跡及びトルファンの遺跡などを勝手に発掘し、大量な歴史的文物を盗み去った。それゆえに『収獲』が豊かで、スタインの名は世界に馳せ渡った。

スタインは、1900-1901、1906-1908、1913-1915年の新疆での探險と考古活動に際して、各方面の「配慮」を受け、発掘活動を異常なほど順調に行ない、盗掘し、非法に大量の文物を携帯して出境した。この3回の成功を味わったスタインは、1929年に更に膨大な文物略奪計画を立て、アメリカ・ハーバード大学とイギリス博物館の援助のもとに、わが国の新疆に来て文物開発を図った。1930年の初め、スタインは英米両国の圧力に屈服した中国国民政府外交部から、新疆遊歴の普通護照（パスポート）を手に入れた。そしてその年の9月にインドから新疆のカシュガルに入り、彼の第4回の新疆文物発掘の活動をはじめた。しかし、思いがけないことには、当時の中国の政治局勢は大きく変化していた。中央研究院、文物保管委員会、中国学術団体などの機構及び各界の有識者の抗議のため、国民政府は最後にスタインの護照を取り消し、なおスタインを追い返すよう行政院に命令した。1931年2月、スタインは新疆のケリヤ・チャルチャン一帯の文物の盗掘活動を停止させられ、コルラ経由でカシュガルに戻った。5月末に蒲犁（現タシュクルガン）の関所から出境した。不正当な手段で奪い取った文物は全て臨時にイギリス駐カシュガル領事館に保存され、その後新疆省政府の交渉により、北京文物保管委員会に移動された。スタインは帰国前にこの文物を全部撮影し、英属インドに持ち帰った。現在これらの写真及び改善後のガラスのフィルムはイギリス図書館の東方とインド収蔵部に収蔵されている。

スタインの第4回の新疆での文物盗掘の活動は、失敗をもって終わった。スタインにとってこれは不名誉な事なので、いつも避けて、その後公開な場所では話さなかった。国内外の関連文献も西洋史料と観点を主にするので、事実とは相当な距離があり、客観的に史実を反映できなかった。

この知られていない歴史事実を揭示し、世の中に事件の発生・展開の過程を全面かつ正確に示すために、新疆ウイグル自治区档案馆は日本佛教大学ニヤ遺跡学術研究機構と協力して『スタインの新疆での第4回探險に関する文書と史料』を出版した。

本書は108件のスタインの新疆での第4回探險に関する文書と史料を収集した。その中82件は新疆ウイグル自治区档案馆の館蔵であり、その他の26件は別の档案馆の館蔵である。内容はこの探險の因果関係、展開過程及び当時の各級政府のこの探險に対する

態度などに関連し、スタインの新疆での盗掘活動の事実を真実・客観的に再現した。

本書の出版の際、我々は長期以来、新疆の文化と教育事業に携わってこられた日中文化交流の使者、新疆ウイグル自治区人民政府文化顧問、日本佛教大学ニヤ遺跡学術研究機構代表小島康誉先生に心から感謝の意を表す。今回の文書と史料の整理と出版にも、幅広い支持を仰いだ。同時に本書の翻訳を担当した孫沈清女史と張立蒸先生に感謝する。

本書に収集した文書と史料は、カラーの写真版で出版したので、読者及び研究者により直観的と有効的に利用していただけると信じる。

編集者

2007年6月

編集説明

一、本書に収集した文書と史料は、ほとんどが新疆ウイグル自治区档案馆の館蔵である。これらの文書と史料は1930-1932年の間、スタインの新疆での第4回考古探險の基本状況及び当時中国各級政府のこの件についての態度と処理結果に関するものである。

二、本書に収集した文書と史料は、その形成の時間順序によって配列し、文書と史料の標註時間は原文の發文時間である。原文の時間が不明瞭の際には編集者が考証した時間を利用した。原文の使用した民国年号は、編集者により西暦に変換した。

三、本書に収集した文書と史料は、編集者が題名を設定し、本文中は題名を表さず、序列番号のみを列記した。

四、文書と史料中、スタインの多種の訳名については、題名には通用の訳名に統一した。例えば文中に「司代諾」「司坦囊」などは、題名では「斯坦因」と統一した。特別な函や電文以外は、題名の發文者と受文者は政府機構の名称のみを提出した。その中、新疆省政府と所属機構は、「新疆」両文字を略した。

五、本書は写真版の方式で出版した。文書と史料の元の形式を確保するもとに、破損が激しい部分には適当な修復を与え、なお全部の文書と史料のバックの色を統一し、変動の状態は凡例によって示した。

六、読者が文書と史料の原始状態と由来を理解するため、編集者は原文のサイズを文書と史料のトップページの下に標註し、なお原文の出場所を書末に列記した。

七、本書は新疆ウイグル自治区档案馆が主となり、中国の方式により、日本佛教大学ニヤ遺跡学術研究機構と合同編纂した。

『スタインの新疆での第4回探險に関する文書と史料』 目次等の日本語翻訳について

今回『スタインの新疆での第4回探險に関する文書と史料』を出版する際、日本語の目次も表記することになった。この際、本書に使用する言葉について幾つかの説明をする。

一、人物について——中国の人物は各自の漢字で表した。外国人については欧米人は片仮名で表記した。その際できる限り日本の共通表記に努力したが、異なることもある。

二、地名について——新疆は多種の民族が生活しているため、数多くの地名が当地民族の言葉で表してある。それが故、地名は片仮名で書く場合が多く、これもできる限り日本の共通表記に努力したが、異なることもある。なお、現代の中国の表記と統一するため、括弧に今の中国通用の漢字の地名を記した。

三、文書種類について——本書に収録してある文書は、民国時代の公文書と書簡であり、文書種類が複雑で理解しにくい。目次の中で一々説明すれば長くなるので、ここに説明して、文書史料の目次には定義された語彙を採用した。

訓 令：上級機関が所属機関に指示を出す場合に使用。

指 令：所属機関から呈上してきた文書についての指示。

呈 報：所属機関が上級機関に呈上する報告書或いはその他の文書。

快郵代電(代電)：短期間に送る文書。

Words from the Editor

Stein once came to Xinjiang to explore and do his archaeological work for 4 times early or late at the beginning of last century. He excavated wantonly Dandanwulik temple ruins, Niya ruins, Loulan ruins, Milan ruins and Turpan historical relics and stole a great amount of precious historical relics, Stein had a so-called bumper harvest and, for this reason, enjoyed a high reputation at home and abroad.

During periods of 1900---1901, 1906---1908, 1913---1915, when exploring and doing his archaeological work in Xinjiang, Stein was taken "good care of" in many ways, so his excavating work was extremely successful, and he stole and excavated a great amount of cultural relics, then carried them abroad. In 1929, based on the success of former 3 times, cherishing the plan of plundering more enormous historical relics, Stein intended to come to Xinjiang and other places again to excavate antiques with the help of Harvard University in the United States and the British Museum. At the beginning of 1930 year, for Guomin Government could not bear the pressure brought by the United States and the United Kingdom, Stein got an ordinary passport to travel in the Xinjiang area from Ministry of Foreign Affairs of Guomin Government. In Sept. of the same year he entered Kashi in Xinjiang from India, thus, began to explore antiques for his 4-th time. Who could have expected that, this moment, the political situation in China changed remarkably. Because of suffering the protest from insightful persons of the Central Research Institute, the Council of Antique Protection, the Chinese academic institutions, associations, organizations and all social circles, Guomin Government had to decide to withdraw Stein's passport finally and ordered the Administrative Council to deport him. In Feb. 1931, Stein was forced to stop excavating antiques in the Yutian, Ruoqiang area in Xinjiang, via Korla returned to Kashi, and via Puli (Now Tashikorgan County) left the country in the end of May of the same year. All of antiques obtained through improper means were kept temporarily in Britain Consulate in Kashi, and later turned over to the Council of Antique Protection in Beijing through the negotiation of the provincial government. Before he left the country, Stein had photos taken of these antiques and carried them with himself to the British dependent state---India. Nowadays, these photos and their improved photographic glass-plates are in stock in the Collecting and Storing Department of the Oriental and Indian Antiques in the British Library.

Stein's 4-th stealing and excavating antiques in Xinjiang ended in failure. For this inglorious thing Stein did not utter a word, felt ashamed to open his mouth, and never talked about it on public occasions, in his articles and works later. The relevant articles and works at home and abroad are still mainly based on Western historical materials and viewpoints. They are often biased against facts, hard to reflect historical facts objectively.

In order to bring this phase of less-known history to light and make common people all-sidedly, precisely understand the course of occurrence and development of the affair, Xinjiang Uygur Autonomous Region Archives and Niya ruins Academic Research Agency of Bukkyo University of Japan have cooperatively compiled and published the book of “Archival Historical Documents of Stein’s 4-th Exploring in Xinjiang.”

There are collected 108 pieces of archival historical documents of Stein’s 4-th travel in Xinjiang in this book. Among them, 82 pieces come from the collection of Xinjiang Uygur Autonomous Region Archives, 26 pieces come from the collection of the other archives. Their content involves the cause and effect, the progressive course of the affair and the attitude of the Chinese governments at all levels at that time, reproduces truly and objectively the indisputable fact of Stein’s stealing and excavating antiques in Xinjiang.

On the occasion of the forthcoming publication of the book, we express our sincere gratitude to Mr.Kojima Yasutakas, the ambassador of the Chinese-Japanese culture and friendship, the cultural adviser of Xinjiang Uygur Autonomous Region Government, the representative of Niya ruins Academic Research Agency of Bukkyo University of Japan for his devotion to the Xinjiang cultural and educational cause. Also in the compilation and publication of the book of Archival Historical Documents he has given us the energetic support. At the same time, allow us to express our thanks to Mrs. Sun Shenqing and Mr. Zhang Lizheng for their hard work in the translation of the book.

The collected documents in the book are published by means of colourful photolithograph, so as for readers and researchers to use these precious historical documents more directly and effectively.

The Editor

June 2007

Editorial Explanation

1. Most of archival historical documents in this book originate from collected files and materials in Xinjiang Uygur Autonomous Region Archives. These historical documents mirror basic situations of Stein's 4-th travel and archaeological activities in Xinjiang during the period of 1930 — 1932 years, the attitude to and handled results of these affairs of Chinese governments at all levels at that time.

2. Selected archival historical documents in this book are arranged in their chronological order. The marked time in archival historical documents are the dispatching time in their original texts. If their dispatching time is unknown, the marked time is used according to the way of textual research of the editor. All the old Minguo calendar the editor converted into the Gregorian one.

3. All titles of archival historical documents are drafted. Therefore, the text of the book would not titled anymore, only order numbers are listed so as to be consulted.

4. For the different Chinese version of “斯坦因” in these historical documents, the current version is adopted in all titles. “司代诺”、“司坦囊” and others, for example, unified and translated into “斯坦因” (Stein). Dispatchers and receivers of drafted titles are marked with names of organization, except a few of letters and telegraphs. Word “Xinjiang” is omitted in titles of Xinjiang Provincial Government and its subordinate organizations.

5. The book is published by means of photolithograph. In order to keep original forms of archival historical documents, some seriously damaged pages are repaired properly, their ground colour are delt with entirely, and their alternation are shown as notes behind.

6. For the convenience for readers to know the forms and sources of selected archival historical documents, the editor has marked the sizes of original documents at the bottom of their first appeared page, and listed their sources collectively in the end of the book.

7. This book is compiled by the Archives of Xinjiang Uygur Autonomous Region together with Niya ruins Academic Research Agency of Bukkyo University of Japan.